

「別格のスター歌手」が特別に承諾した来日公演！今回を逃すともう、次回はありません！

# 【緊急決定】「超弩級の美声」が三次へ “ベルリン・フィル”とも共演する名花

ベルリン在住、各国の歌劇場に有力歌手を送り込む「オペラの目利き」敏腕マネージャーが絶対の自信で推薦！  
これが世界を制覇する一流の声だ!!

**東京公演はNHKによるテレビ収録が決定!**

ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ロンドン響など欧州の名門オーケストラと共演  
ラトル、ガーディナー、クルレンツィス、V.ユロフスキ  
など世界を代表する大指揮者と次々共演、BBCプロムスなど欧州の重要な音楽祭にも出演!!

## ソフィア ブルゴス

ソプラノ・リサイタル

ピアノ：浅野菜生子(日本を代表する演奏家の一人)



## 《モーツァルト傑作選、そしてスペイン歌曲》

モーツァルト：『フィガロの結婚』より「自分で自分がわからない」、「恋とはどんなものかしら」、『コジ・ファン・トゥッテ』より「女も15になれば」「男が、兵隊が」  
モーツァルト：歌曲『魔法使い』、『おいで、いとしのツィターよ』 / ファリャ：『7つのスペイン民謡』より ほか

※曲目は予告なく変更になる場合がございます。ご了承下さい。曲目は各回同一となります。各回約60分の公演を予定

2021 2.1(月) 14:00 & 18:30 開演 [各回30分前開場] 三次市民ホールきりり 大ホール

全自由席 前売 一般 各回 5000円 三次音楽家協会会員およびMCS会員 4500円 当日6000円  
会員および学生限定!(枚数限定) 早いものがちニコニコチケット 2525円

学生は小学生以上、当日学生証提示 ニコニコチケットはメールにて申込: [mcsticket@mcsya.org](mailto:mcsticket@mcsya.org)

【問合せ&電話予約】三次音楽家協会 080-8243-1540 MCSヤング・アーティストズ 03-3473-2880

【ネット申込】マイチケ: [myticketnavi.com](http://myticketnavi.com) 【主催】三次音楽家協会、MCSヤング・アーティストズ

\*後援 三次市・三次市教育委員会・(株)暮らしサポートみよし・(株)三次ケーブルビジョン・中国新聞社

\*チケット販売所 <三次市>三次市民ホールきりり・サングリーン・CCプラザ

<広島市>福屋広島駅前店チケットサロン・エディオン広島本店



# 世界の最前線を走る才能を目撃するチャンス、絶対に見逃せません！

ソフィア・ブルゴス(ソプラノ) Sphia Burgos, soprano

ウラディーミル・ユロフスキ指揮ロンドン・フィルの『放蕩児のなりゆき』(ストラヴィンスキー)においてアン役(ロール・デビュー)を歌ったほか、ベリオおよびファリャの作品をアイヴァー・ボルトン指揮バーゼル交響楽団とともに録音。マティアス・ピンチャー指揮のドビュッシー『聖セバスチヤンの殉教』にも出演し、ペーター・ルンデル指揮バイエルン放送響によるベアト・フラーの『雪＝場面(Schnee-Szenen)』のコンサート版初演に参加した。サー・サイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団のロンドン、パリ公演では『利口な女狐の物語』(ヤナーチェク)の女狐役を歌っており、エジンバラ音楽祭ではサー・ジョン・エリオット・ガーディナー指揮の『ウェスト・サイド・ストーリー』(バーンスタイン)に出演した。その他の主要な公演として、テオドール・クルレンツィス指揮マーラー室内管とミュンヘンのプリンツレーゲンテン劇場およびハンブルクのエルプフィルハーモニーでクロード・ヴィヴィエの『みなし児』を歌って共演、BBC 響および MDR 交響楽団とはバーンスタインの『ソングフェスト』で共演した。アントネッロ・マナコルダ指揮アルンヘム・フィルハーモニー管とはエミリー・ディキンソンの詩によるロビン・デ・ラーフの作品で共演した(チャレンジ・レコードより CD となってリリースされた)。グリゼーの『限界を超えるための4つの歌』をエルプフィルハーモニーで歌い、アンドリュウ・ノーマンの『トゥ・ザ・ムーン・アンド・バック』をサー・サイモン・ラトル指揮のベルリン・フィルおよびロンドン響で歌い、エクサンプロヴァンス音楽祭には『デイドとエネアス』(パーセル)のベリンダ役で出演した。2019/20 シーズンも重要なデビューを果たしている。BBC プロムス、ベルリン音楽祭、ヴェルサイユ宮殿王室オペラ座、ラ・コート＝サン＝タンドレのベルリオーズ音楽祭においてサー・ジョン・エリオット・ガーディナー指揮モンテヴェルディ管による『ベンヴェヌート・チェッリーニ』(ベルリオーズ)のテレザ役を歌った。またオランダ国立歌劇場ではアイヴァー・ボルトンの指揮で『コシ・ファン・トゥッテ』(モーツァルト)のデスピーナを歌い、ブリュッセルのモネ劇場でのモーツァルトのダ・ポンテ三部作の新しいプロダクションでは『フィガロの結婚』のスザンナおよび『ドン・ジョヴァンニ』のツェルリーナを歌った。(le lab 演出、アントネッロ・マナコルダ指揮)またベルリン・コンツェルトハウスおよびミラノのガベール・オーデトリウムにおいて、ダニエル・ゲルツバーグのピアノでリサイタルを開催する。イーストマン音楽学校の学士課程を修了。同学でブラッド・ラブマン指揮ムジカ・ノヴァ・アンサンプルと共演し、ウンスク・チンの『折句 - 言葉の遊戯』やステイーヴ・ライヒの『テヒリーム』などを歌った。またイーストマン協奏曲コンクールに入賞し、バーバー『ノックスヴィル「1915年の夏」』をイーストマン劇場で卒業生室内管と共演した。そのほかイーストマン・オペラコンクール第3位、ジェシー・クナイゼル・リート・コンクール入賞、2017年にはナディア&リリー・ブーランジュ国際声楽＝ピアノコンクール(パリ)においてドイツ・リート賞を受賞。グラーツのシューベルトと現代音楽国際コンクールで第2位入賞(2018年)。現在はオランダのハーグ在住。

浅野菜生子(ピアノ) Naoko Asano, piano

桐朋学園大学ピアノ科卒。同大学声楽科伴奏研究員修了。88年より声楽・器楽伴奏・オーケストラ鍵盤楽器奏者として活動を開始。'96年にミラノへ渡り、C.カメリーニ、M.ムナーリの両氏の下でコレパティトーアとしての指導を受ける。'98年に帰国、藤原歌劇団や新国立歌劇場等のピアニストとして活動を再開。現在はオペラでの公演スタッフ、国内外の歌手のリサイタルでの共演ピアニストとして活躍中。昭和音楽大学・大学院講師。藤原歌劇団団員。